

プロテオミクス概論

2 単位 (選択)

Introduction to Proteomics

谷口 寿章・教授/疾患酵素学研究センター, 木戸 博・教授/疾患酵素学研究センター, 蛭名 洋介・教授/疾患酵素学研究センター
野間 隆文・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 宮本 賢一・教授/人間栄養科学専攻

【授業目的】 ポストゲノム時代における医学, 生物学に重要な位置を占めるプロテオミクスの基礎を習得する。

【授業概要】 遺伝子産物である蛋白質がどのように相互作用して生命活動を制御するかを理解する手段としてのプロテオミクスの理論, 解析法, 応用例を体系的に講義する。

【履修上の注意】 講義においてはプリントも配布するが, プロジェクターなどを使用する講義なのでノートの取り方は工夫すること。

【授業計画】

1. 授業ガイダンス+プロテオミクス序論 (担当者: 谷口寿章)
2. プロテオミクスを用いたインスリンシグナル伝達の解明 1 (担当者: 蛭名洋介)
3. プロテオミクスを用いたインスリンシグナル伝達の解明 2 (担当者: 蛭名洋介)
4. プロテオミクスを用いたインスリンシグナル伝達の解明 3 (担当者: 蛭名洋介)
5. 健康長寿食品とプロテオミクス 1 (担当者: 宮本賢一)
6. 健康長寿食品とプロテオミクス 2 (担当者: 宮本賢一)
7. エネルギー代謝のプロテオミクス 1 (担当者: 野間隆文)
8. エネルギー代謝のプロテオミクス 2 (担当者: 野間隆文)
9. プロテオミクス解析の疾患への応用【基礎】 (担当者: 木戸博)
10. インフルエンザ脳症のプロテオミクス解析【応用 1】 (担当者: 木戸博)
11. ゲノミクスとプロテオミクスを統合したインフルエンザ脳症の解析【応用 2】 (担当者: 木戸博)
12. プロテオミクスの解析技術 (担当者: 谷口寿章)
13. 生体高分子の質量分析法 (担当者: 谷口寿章)
14. 翻訳後修飾の解析 (担当者: 谷口寿章)
15. プロテオミクスの生命科学への応用 (担当者: 谷口寿章)

【成績評価】 出席状況, 受講態度, レポートなどにより判断する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217566>

【連絡先】

- ⇒ 谷口 (088-633-7426, hisatan@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜日の16:00~ 18:00 (e-mail により時間調節を適宜おこないます))
- ⇒ 他の教員についても, e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。